

学校便り
プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000
FAX : 224 313 684
Email: jschool@volny.cz
No.854 2016/4/12

JAPONSKA SKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」
目指す子ども像
かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子



ご入学、ご進級おめでとうございます！（入学式式辞）

本日、在チェコ日本国大使館特命全権大使山川鉄郎様をはじめといたしまして多数のご来賓のご臨席を賜り、平成28年度入学式が開催されますことに心よりお礼申し上げます。また、保護者の皆様におかれましてはお子様のご入学おめでとうございます。

8名の小学1年生の皆さん、10名の中学1年生の皆さん、入学おめでとう。

今日は出会いの日ですね。新しいお友達や先生との出会い、そしてチェコとの出会い、最後に一つ学校や学年が上がった自分との出会いです。出会いを大切にしてくださいね。

今日は皆さんに学校で勉強することのお話をしたいと思います。校長先生は、学校というのは「読むこと」「書くこと」「聞くこと」そして「話すこと」を勉強する場所だと考えています。そして、この4つがもとになって、「自分で行動できること」「自分ひとりで生きていける」ようになります。中学生には「自立できる」「独り立ちできる」という言い方がわかりやすいかもしれません。

まずは「読むこと」と「書くこと」。1年生はひらがな、かたかな、次に漢字と難しくなっています。一生懸命読んで、たくさん書く練習をして覚えてください。そして、中学校では、ただ読めるだけでなく、何を読むか、どう読み取るかを勉強します。さらに、書くことで自分の考えを深めていきます。つまり「ただ読むだけ」から「どれだけ深く読めるか」、「ただ文字を写すだけ」から「どれだけ自分の考えが書けるか」です。深く読み、深く考えて書くことができます。これは、ひとりの人間として着実に成長していく姿です。そのために、毎日の授業では、目標をもって学習し、どこまでできたかをきちんと振り返ってください。

次に、「聞くこと」と「話すこと」。小学1年生は、ほかの人が話をしているときは、きちんと黙って聞けるようになってください。思わず自分のことを話したくなる時も、相手の話が終わるまでは聞くことが大切です。そのあとに、自分の考えや意見をきちんと相手に伝えてください。中学生は、ただ聞くだけではなく、「ここが大切」という考えのポイントをとらえた上で自分との違いや共通点、あるいは賛成できる点と賛成できない点を聞き分けてください。そして、そのことをもとに相手と「話し合う」ことが大切です。話し合いを通して、お互いの考えを深めていってほしいと思います。これは大人の世界では、対話といいます。しっかりと相手の話を聞いて、お互いに理解しあうために、とことん話し合う。これを、学校では学びあいといいます。

この4つの力を小中学校で一つひとつ身につけていってください。この4つができれば、義務教育が修了し、一人前の自立した人間として認められるのです。つまり、自分でなんでもできる人、そして自分から何かをできる人になるのです。

最後に、保護者の皆様に申し上げます。プラハ日本人学校は、かしこい子、やさしい子、たくましい子、世界で生きる子を育てることをめざして、一層の努力をしまいる所存であります。今後とも、本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をお願いいたしまして、式辞といたします。

ご入学おめでとうございます。

小学部1年生	芹澤さん	武内さん	柘植さん
	久井さん	福田さん	堀之内さん
	宗田さん	山野さん	
中学部1年生	梶田さん	川端さん	佐藤さん
	清水さん	芹澤さん	橋本さん
	松田さん	丸山さん	村瀬さん
	山田さん		

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	中1	中2	中3	計	合計
男子	4	7	6	9	5	5	36	8	4	1	13	49
女子	4	9	6	5	5	3	32	2	3	0	5	37
合計	8	16	12	14	10	8	68	10	7	1	18	86

今年度のプラハ日本人学校のスタッフを紹介します！

校長
教頭
教務

小学1年担任・小学部長
小学2年担任
小学3年担任
小学4年担任
小学5年担任
小学6年担任
中学1年担任
中学2年担任
中学3年担任・中学部長

齊藤 仁
中崎 公夫
木村 明子
柳川 篤
黒田 智広
大前 忍
一瀬 多希子
西川 澄子
染谷 恭平
石坂 祐樹
川端 満
浜田 健一



常勤講師 ストラカ 弥紀
事務担当 北野 良子
非常勤講師 大梶 優子
非常勤講師 沢 香織
非常勤講師 クレハナ ッチタ 湖
非常勤講師 カトカ
非常勤講師 レイン
非常勤講師 アレン
運営・管理 ニュメツツ
営繕・技術 ラチナ

新任の先生方紹介

《中崎 公夫 教頭》

初めまして。教頭の中崎公夫(なかざき きみお)です。『くまモン』や阿蘇山で有名な熊本の出身です。日本人学校の勤務は2度目で、以前はオーストラリアのメルボルン日本人学校にいました。その時に異文化を理解する上で大切なことはまず日本の文化を知ることであることに気づき、20年以上、俳句、短歌、川柳を詠み続けています。ここプラハでも、日本文化のすばらしさを多くの人に伝える活動を子どもたちと一緒にできたらと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

《黒田 智広 教諭》

初めまして。兵庫県から来ました「くろだ ともひろ」です。プラハでの生活が始まり、楽しみでいっぱいです。初めての事に挑戦する時には誰しも不安がありますね。そんな皆さんの不安を少しでも和らげ、喜びや楽しみに変えられるように、共に寄り添い、たくさん話をしていきたいと思えます。体を動かしたり、新しい事に挑戦したりするのが好きです。まだまだわからない事ばかりですが、どうぞよろしくお願い致します。

《大前 忍 教諭》

岐阜県から来ました、おおまえ しのぶです。岐阜県は美しい自然が溢れ、歴史ある町並みの素敵なおとこです。プラハも素敵なおとこ、そして美しい自然が身近にあると聞きました。プラハでみなさんに会える日を心待ちにしていました。「笑顔いっぱい、楽しく！」をモットーに頑張りたいと思えます。みなさんといっしょに、プラハのことをいろいろ学んでいけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

《石坂 祐樹 教諭》

初めまして。埼玉県から来ました「いしざか ゆうき」です。先生が生まれ育った埼玉県川越市は「小江戸川越」と呼ばれ、歴史のある町です。何十年も生活していますが、今でも新たに知ることがあります。知ることには限界はなく、とても楽しいです。歴史ある街並みや豊かな自然に囲まれるプラハには学習の種がたくさんあります。共に身近なところから学習していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

《川端 満 教諭》

富山県から来ました「かわばた みつる」です。プラハでの生活はまだ、1年生です。わからないことや知らないことがたくさんあるので、みなさんといっしょに勉強していきたいです。わたしからは、日本のことや世界のことをつたえて、みなさんとたくさんのかんことを考えていきたいと思えます。みなさんにできること、わたしにできることをたくさんあつめて、楽しい学校生活を送りたいと考えています。よろしくお願ひします。

転入生紹介 小2：池 さん 今井さん 東 さん
小3：梶田 さん
小4：杉山 さん 武内 さん 中島 さん
小5：池 さん 梶田 さん
小6：東 さん